

HSK

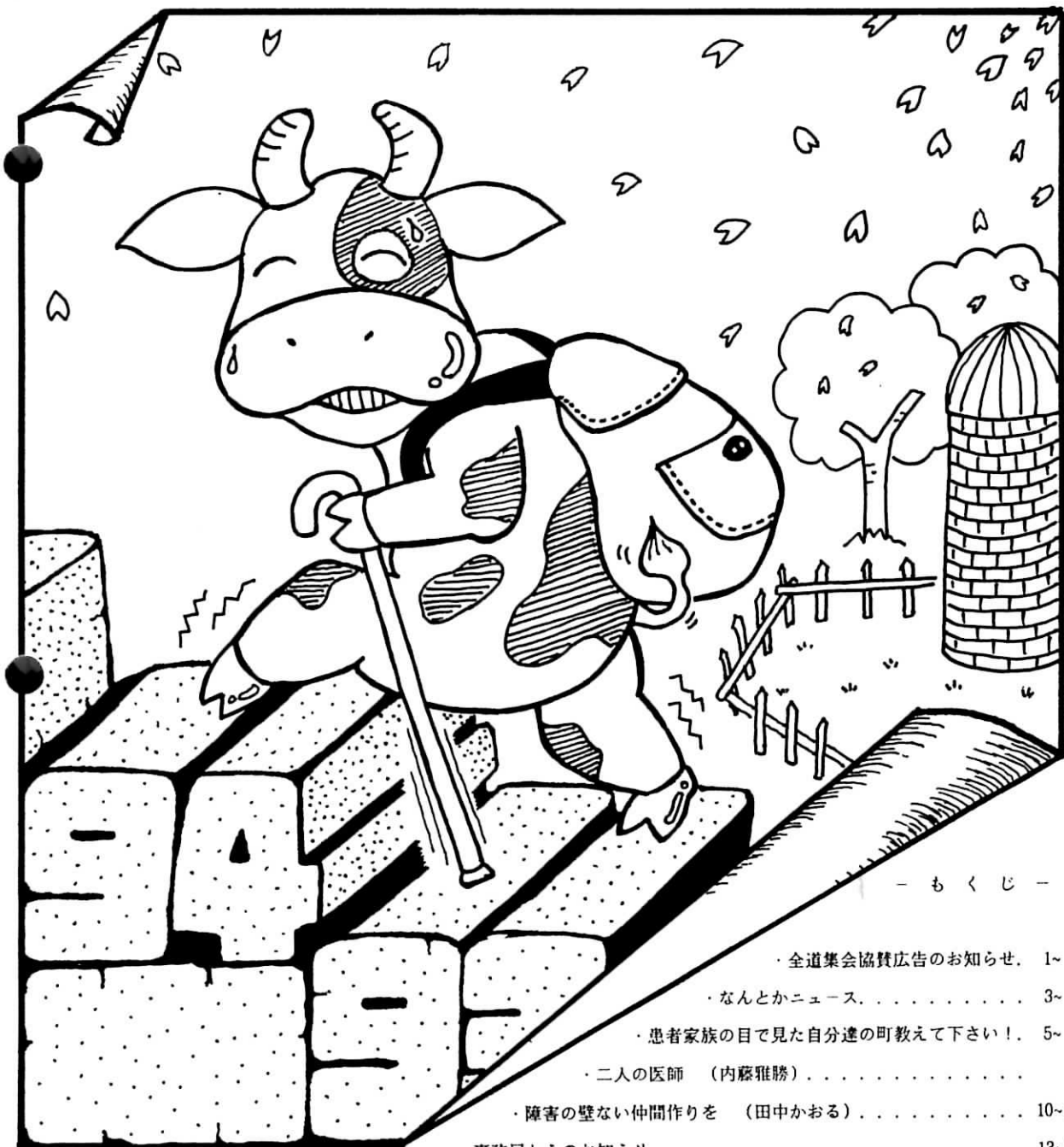
なんれん

こから



NO. 13

昭和48年1月13日
 第三種郵便物認可
 HSK通巻第265号
 1994年4月10日発行
 毎月10日発行（一部100円）
 （会費・協力会費に含まれています）
 編集 財団法人北海道難病連
 十勝支部
 発行 北海道身体障害者団体
 定期刊行物協会（HSK）



— も く じ —

- ・全道集会協賛広告のお知らせ 1~2
- ・なんとかニュース 3~4
- ・患者家族の目で見ただ自分達の町教えて下さい！ 5~8
- ・二人の医師（内藤雅勝） 9
- ・障害の壁ない仲間作りを（田中かおる） 10~12
- ・事務局からのお知らせ 13~14

第21回 難病患者・障害者と家族

○7月30日(土)

・分科会 疾病別の医療講演会・相談会・交流会など

14:00~17:00 旭川グランドホテル
ときわ市民ホール
勤労者福社会館

・交流会

18:00~20:00 旭川グランドホテル

○7月31日(日)

・全体集会 患者家族の訴え・基調報告・来賓ご挨拶
記念講演・部会支部紹介など

9:30~12:30 旭川グランドホテル

今年旭川市での開催です。

旭川の皆さん、ご苦労様です。

十勝でも「全道集会的あさひかわ」の成功を願っています。

※全道集会の詳しい内容や申し込み方法については、次回の機関紙でお知らせします。

の全道集会のあさひかわ

。。。。協賛広告のゴ協力について。。。。。

この全道集会を成功させるためにも沢山の協賛ゴ寄付や、集会プログラムの協賛広告のゴ支援を賜りますようお願い致します。

ープログラム協賛広告料金ー

〈標準サイズ〉	27mm×72mm	9,000円	(1ページ16コマ)
〈倍サイズ〉	54mm×72mm	15,000円	(1ページ8コマ)
〈2分の1サイズ〉	108mm×144mm	50,000円	
〈1ページ〉	216mm×144mm	100,000円	

- ★協賛社名、住所、電話番号、担当課(者)名と広告サイズ及び原稿内容をご連絡下さい。
- ★指定文字、マーク入り、地紋、アミ目使用、写真版の使用などは、版下を提供いただくか、別途版下料(1ページ¥4,000~¥8,000)が必要です。
- ★カラー印刷はできません。
- ★協賛広告の×切日を製作準備の都合により、94年6月25日とさせていただきます。
- ★協賛各社(個人)には、プログラム一部を贈呈いたします。

※ゴ不明な点につきましては、下記へゴ連絡下さい。

《問い合わせ先》

帯広市西5条南13丁目19-2

(財)北海道難病連 十勝支部事務局

TEL 23-6602 FAX 23-7071

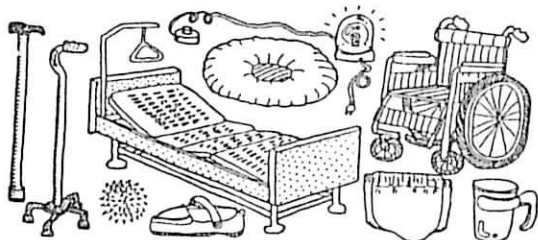
なんとか NEWS ニュース

・・・ なんとかやります？ みんなでなんとかしょう！！ なんびょうもんとかちび ...

機器・用品の展示 各所で実施

- 10/27 帯広保健所患者交流会
- 11/3 上士幌町健康まつり
- 11/27 池田町健康まつり
- 12/5 帯広市.障害者の日記念行事
- 2/7.14 池田保健所家庭看護教室
(浦幌町にて2回)
- 2/18.21 池田保健所家庭看護教室
(池田町にて2回)

各所での催しの場で、福祉機器、介護用品の紹介をさせていただくことができました。保健婦さんや介護にたずさわっている方などからも、たくさんの事を学ばせていただいています。



リサイクルバザーと
福祉機器展示
12・5(日)
"ふれあい広場"参加
グリーンパークにて

障害者の日、恒例の"ふれあい広場"がグリーンプラザに於いて12月5日(日)行なわれ、十勝支部でもリサイクルバザーと福祉機器展示で参加させていただきました。

沢山の方からいただいた品物、古着など飛ぶように売れ、お客さんにも大変喜んでいただく事ができ、ご寄付も下さいました方々、ありがとうございました。

活動資金として大切に使用させていただきます。

福祉機器展示の方も、日常生活において、より使いやすい福祉機器への関心が多く、またJPCの署名にもご協力して下さいました。



(ま)

エアーマットの展示と 福祉機器相談会開催

11月28日、29日、毎年取り組みを行っている、福祉機器相談会ですが、今回は床ずれ防止に効果のある、各種エアーマットの展示も兼ねて行いました。

在宅介護での相談の場としても大切になっていることから、ショールームを十分活用して、普段見ることのできない用品を紹介したり、様々な相談ができる機会を作っていくことと、この福祉機器営業による収益が、活動を支える、貴重な財源となることを知っていただけるよう、気力と体力と誠意をつくし、これからも続けていきたいものと思います。開催にご協力いただいた、たくさんの皆様に心より感謝致します。(あ)

道東支部役員研修会参加

1月29日、30日、標茶町にて行われた道東地域支部役員研修会に

参加しました。雪も少なく快適なドライブで鶴の家かや沼へ、車から降りようとした時でした、なんと数羽の鶴が目の前を飛び立ち、しばし見とれて、なんともしあわせな気分での研修会となりました。

研修では、標茶保健所藤田婦長さんによる、心のリハビリについて、ストレス解消法、自立訓練法など、たくさんの楽しいお話しの中から、より住民に近い、きめこまかなかわりの様子がうかがえました。

また、長年地域医療にたずさわってこられた、弟子屈養生邑クリニックの行木先生からは、地域の医療過疎に対して何が考えられるか、どう援助していくか、住民にとって満足できる医療とは、など興味深いお話しがありました。

そして、伊藤事務局長からは、健保改悪と難病対策の見直しほか活動して行く上でも知っていなければならぬ、大切なことの盛りだくさんな研修内容でした。

しかし、時間とともに忘れること多く、何度でも新鮮に感動して聞ける特技あり、反省中です。

(あ)



患者・家族の目を見た 自分たちの住む町の 情報を教えて下さい!



北海道難病連では毎年、国や道、市町村への要望と陳情を行っています。（なんれん No.58 参照、または P.7~8）

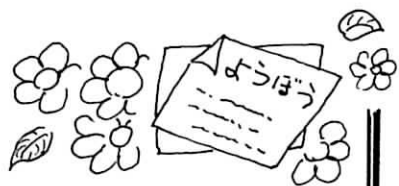
患者、家族の現状に基づいた要望を粘り強く継続することによって、少しずつ問題が解決していています。

私達の住む十勝は、20市町村という広い地域にまたがっており、患者・家族のかかえる深刻な問題も少なくありません。

そこで、今までの要望に加え、もっと一人ひとりの現状と要求をほりおこして、取り上げる必要のあるものは、市町村への要望書の中に入れていかなければなりません。

病気を持ったことで、また患者の家族となったことで、今まで気づかなかったことが見えてくることもあります。多くの方は、残された力を生かし、工夫しながら、困難や不安、いろいろなことを乗り越えています。どうしても乗り越えられない壁にあたったとき、気がついたことを、ちょっと声に出してみることが必要ではないでしょうか。全ての問題が、いっきに解決するものではありませんが、全ての人が住みよく、自分達の住む町がもっとすばらしい町になることにつなげたいものです。

ぜひ、患者・家族の目を見た、自分達の住む町の情報や地域の現状を教えてください!! よろしくお願いします。



🌸 9月ころ五めどに、要望書を作ります。
 ✂️切りはありませんので、気がついた時に、いつでもご連絡下さい。機関紙で紹介させていただいたり、必要と思われ
 るものは、要望書へ取り入れます。

🌸 困っていることだけでなく、私達の町には、こんな良いシステムがあります、こんなことで、とてもたすかっています、という情報でも良いです。

🌸 たとえば、ある地域では、バスのステップの改善により、昇降が楽になった例もあります。また除雪対策、通院での問題、専門医療の問題、などなど、私達の回りのいろいろな情報をお知らせ下さい。

🌸 はがき、手紙などでお知らせ下さい。ご協力お願い致します。連絡先は...

〒080 帯広市西5条南13丁目19-2「ふれあい帯広」

(財)北海道難病連十勝支部

でんわ(0155)23-6602
 FAX(0155)23-7071



18 身体障害者自助具給付制度を実施して下さい。

身体障害者に自助具を給付するこの制度は、道内では現在、札幌市・小樽市・岩見沢市など、まだごく少数の自治体で実施されているにすぎません。入浴用リフト・風呂用手すり・トイレ付ベッド・トイレチェア・読書スタンド・ページめくり器・ヘルプハンド・洗髪器・受話器ホルダーなど、重度の障害者が日常生活を送るためには必要なものです。道内の全ての自治体で実施されるよう強く要望いたします。

19 老人日常生活用具給付事業を実施して下さい。

介護を必要とする高齢者の療養と介助のために必要な生活用具を給付するこの事業は、現在道内では、札幌市・小樽市・根室市などごく一部の自治体で実施されているにすぎません。特殊寝台・浴槽・湯沸器・マットレス・エアパッド・腰掛け便座・特殊尿器・火災報知器・自動消火器・入浴

タンカ・体位変換器など、高齢者の療養生活や介護者の援助のために必要なこれらの器械の給付事業を実施されるよう強く要望いたします。

20 老人自助具給付事業を実施して下さい。

身体に不自由を来している高齢者の日常生活のために必要な器械を給付するこの事業は、現在道内では、札幌市・小樽市・江別市などで実施されているに過ぎません。読書スタンド・ページめくり器・ヘルプハンド・トイレ付ベッド・トイレチェア・トイレ用トランスファーボード・トイレ用手すり・バックレスト・風呂用手すり・入浴用リフト・簡易和式ギャッジベッド・座敷用車イス・洗髪器などが給付されるよう、当事業の実施を強く要望いたします。

21 障害年金(基礎年金)の無年金者を救済すると共に支給停止後三年失権制度の廃止を国に強く要請して下さい。(説明省略)

22 三歳以下の障害を持つ幼児の療養の場を拡げて下さい。(説明省略)

23 重度心身障害児や重複障害児の義務教育後後期中等教育の拡大と内容の充実を図り、障害児、病弱児の学校(学級)選択の自由の保障と、必要かつ適切な教育が受けられるよう十分な配慮を行い、また体育をはじめとする授業参加、評価(評定)について、子供の能力と発達を保障する立場から十分な配慮と指導援助を行って下さい。(説明省略)

24 すべての学校に昇降施設を設置して下さい。(説明省略)

25 市町村営住宅の障害者の入居基準を緩和し、改善等を行って下さい。(説明省略)

26 難病患者、身体障害者、高齢者のための介助の受けることのできるケア付集合住宅を建設して下さい。(説明省略)

27 全ての公共建築物に昇降施設と障害者用トイレを設置して下さい。

28 長期慢性疾患や難病患者、身体障害者等の雇用の促進に努力して下さい。(説明省略)

29 自治体職員採用試験に視覚障害者の点字受験を認め、公務員への道を開いて下さい。また、内部障害者についても他の障害者と同様の採用をして下さい。(説明省略)

30 難病による休職期間の延長を行い、また、企業に対して働きかけて下さい。(説明省略)

31 バスの乗降ステップの改善や、バス・電車停留所の完全除雪、JR等、公共交通機関が身体障害者の乗降、利用に配慮されるよう、関係各機関への働きかけを行って下さい。(説明省略)

全道二百十一市町村(札幌市を除く)長への要望書

要望の主旨

(省略)

- 1 現北海道難病センターに隣接する南4条西10丁目に、難病患者、身体障害者、高齢者が安心して入居できるケア付集合住宅を含めた難病センター別館建設運動への支援をお願いします。(説明省略)
- 2 財団法人北海道難病連の運営と相談等の事業に大幅な助成を行って下さい。(説明省略)
- 3 通院交通費助成事業の実施及び拡大をして下さい。(説明省略)
- 4 見舞金・福祉手当等の実施及び拡大をして下さい。(説明省略)
- 5 入院や在宅患者の付添費の助成を行って下さい。(説明省略)
- 6 国民健康保険料(税)、国民年金料(税)を引き下げ、難病患者や低所得者の経済負担を軽減して下さい。(説明省略)
- 7 国立病院の統廃合については、各病院の役割と現在の患者たちの実態を十分に尊重し、より機能を充実させ、患者及び地域住民の要望に沿って行われるよう、国や関係者に要望して下さい。(説明省略)
- 8 市町村立または国保病院や国立・道立病院に地域の関連機関と団体及び患者代表が参加する病院運営協議会を設置して下さい。(説明省略)
- 9 市町村立病院または国保病院に医療ソーシャルワーカーを配置し、独立した医療相談室を設けて下さい。また、国立・道立病院にも配置するよう要望して下さい。(説明省略)
- 10 市町村立病院または国保病院では、必ず理学療法士、作業療法士を配置して下さい。また、医師、看護婦、医療ソーシャルワーカーや保健婦との連携による在宅療養支援チームをつくり、在宅患者が寝たきりにさせられないよう訪問活動を行って下さい。(説明省略)
- 11 在宅重症患者に付添看護人、または医療ヘルパーを派遣して下さい。(説明省略)
- 12 医療法改正による町村立(国保)病院の老人病院指定について、基準を緩和するよう国に働きかけて下さい。(説明省略)
- 13 健康保険法改訂で入院給食費が健康保険からはずされることがないよう強く国及び関係機関に働きかけて下さい。(説明省略)
- 14 難病患者、身体障害者の緊急通報システムを実施して下さい。(説明省略)
- 15 福祉八法改正によって、福祉施策の市町村格差が生じないように、また、積極的な福祉施策が展開されるよう、福祉関連予算を十分に増額して下さい。さらに、各市町村の福祉担当窓口を充実させ、専門の職員を採用し配置して下さい。(説明省略)
- 16 身体障害者手帳の制度とその意義を医師に周知徹底し、対象となる全ての住民が等しくこの制度を有効に活用できるようにして下さい。(説明省略)
- 17 難病患者・家族の生活保護受給者に対する審査、指導を改め、分かりやすくかつ、精神的圧迫を受けることがないように改善して下さい。(説明省略)



『二人の医師』



内藤 雅月券（肝炎友の会）

私が病気になって会った2人の医師について書いてみます。

A医師は、昭和52年からの私の主治医、帯広の病院の勤務医である。優しい話し方をし、聞いた事以外は話そうとしない。長い間付き合い合っているので、医師のその日の機嫌まで、挨拶の応対でわかるようになってしまった。夫婦のような間って言うのかな？（でも男性医師...）

B医師は、肝炎友の会に入会してから知り合った札幌の医師である。話し方が元気よく、行動的であるし、聞かない事までハッキリ言う。衝突する事もあったが、医師に合うと特別元気が出る。

2人の医師とも、結果的には治療法は同じである。

A医師に通院中私はA医師に話して、肝炎友の会の検査を受け、B医師に出会う。治療法も同じであるが、2人の医師の人生観、病気（慢性疾患）に対する考え方もにているし、とても元気づけられた。


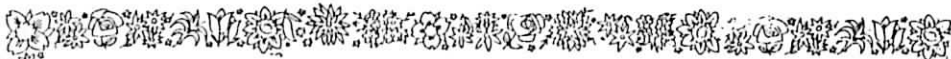
昭和52年発病当時とはとにかく完治させなくてはと、深刻になっていた私に、A医師は「慢性疾病は大事に病気と付き合うこと、けして自暴自棄になってはいけない。」好きなスポーツも、地域の活動も、公職も辞めようと思っていた私にB医師は「自分の人生.... それで本当にいいかよく考えてみなさい。」

病気になってしまった事は止むを得ない。2人の素晴らしい医師に出会えたし、出合いのきっかけになった肝炎友の会も、友の会の会員達も素晴らしい。

A医師が最近新聞に投稿した文章の一部。

『人間は二つや三つの病があるのが当たり前なのである。全く健康な人などあり得ない。病むことによって、どれほど賢くなれるかその人の力量次第である。』

未熟ものの私には少し耳が痛い言葉であるが... 励ましのメッセージだと聞き頑張ろうと思う。



障害の壁ない仲間作りを



田中かおる（協力会員）

昭和47年1月11日に、この世に命をいただいて生まれてきました。私は予期せぬ状態、仮死と言う形で両親の前に現れてしまいました。初めての子供でしょ。でも命を与えてくれ、生きる事を願ってくれた両親のおかげで、峠を越える事が出来ました。

月日が流れ、2歳になっても、伝え歩きしかできず、母が病院へ足を運び専門の病院に行っ、その時、私の病名が分かったそうです。脳性小児麻痺、まだ幼い私を抱え、若い母は、とまどったに違いありません。

運動障害、軽い言語障害、幸いすぐ下の弟がいたおかげで、発音は良くなり、お姉さん気取りをしていた私は、少しずつ成長することができました。

歩く事の出来ない私は、リハビリで、歩く事、自分で出来る事の喜びを感じる事が出来ました。

やがて、小学校も普通の小学校に入学しました。その裏では、母の大きな力がありました。先生達

を説得し、納得頂いて入学の許可をもらい小学校に入れたそうです。もちろん高学年の頃は、段々と男女別々に遊ぶようになり、イジメも何度かありました。けれど、私にはイジメが付きもので、差ほど気にしていなかったと思います。私にも友達が出来たのが幸でした。

夏には、私の苦手な水泳を覚えるために、ヤングセンターへ友達と遊びに行った事がありました。一つの小さい冒険となりました。

中学への入学の前も、専門の先生が私を尋ねてきました。私の学力、運動機能などを見ていた記憶がありますが、無事に普通の中学に入学しました。仲良しだった友達は転校してしまいました。

回りの女の子は、男子の目があり、まして中学に入ったら思春期で、私の回りから去って行った事が記憶に残っています。

私も反抗期とかで、何をしても面白くない日々がありました。でも見ている人は見ているのです。

嫌な事がありました。良い思い出もありました。

さあ、高校生です。私が、伸び伸びと暮らした3年間です。

推薦で入り、女子高といえば、当時の大谷高等学校です。そこで男性の目も気にせず、私が本来の姿を発揮した時代です。すぐ友達も出来、今も飲みに行ったり、スキー、水泳、旅行へ行ったりしています。

でも、3年になったら、回りは進学、就職が段々と決まってきましたが、私は、障害手帳を使うのであれば就職があるが「手帳は使いたくない!!」と先生に、たんかを切ってしまいました。

「手帳、紙きれで人生左右されたくない、と言う気持ちがありました。そこで、すっかり障害者と言う事を忘れてしまい、私は社会の壁に当たりました。

手帳を使わないで就職を見つける事が出来ずに、学校からも受けたい所があっても推薦されずに、回りの人が次々と決まってしまうのをただ見ていただけで、悔しくて泣いた事もありました。

ある日、夕刊の新聞に砂川の障

害者訓練校が載っていました。

その新聞を見、一目で私はそこに『行く』と思いました。

一般的の試験がありましたが、合格し私は軽印刷という所に入りました。

写真植字(文章を本、広告に置き換える事)を1年間学び、その1年間で幅広い年代の人と出会い、又同じ障害者でもいろいろと病気を持っている人がいる事を知りました。

初めはやはり、障害を持っているのだから、なんとなく暗いイメージがありました。すごく明るく、皆いつも舎監を困らせたものです。

そこで1年間学んだおかげで、職場も決まり、印刷会社に決まりました。1年半で、人間関係で絶えてしまいましたが、次の会社にすぐ決まりました。

今思えば、毎日が短かくアットという間に1年ちょっとたっていました。

このまま、時間に流されて良いのかな~と思っている所で、この難病連のドアを叩く事になりました。

12月5日にバザーに参加しました。でも、自分で何にかやろうという、同じ障害を持った方が少ないように見えました。

もっと多くの方が、自信を持ってくれば良いのにと思っています。私も、悩みがある時は、友達に相談するとか、夜飲みに行くとかして、ストレスを解消するようにしています。楽しい事もあるんです。

街に出ると、やはり札幌に比べると、出歩く人が少ないのです。向こうにいと、盲人、車椅子、麻痺の人々が、健常者の彼氏、彼女達とデートしているのです。

堂々としているんです。でも、帯広ではやはりジロリとした視線があります。本人も気にせず、気にしていたらやっぺられないですから。

外へ出ると、気持ちも変わり良いものです。

まだ未熟な私ですが、皆さんの考えている事を聞いて、交流の場を沢山持てたらと思います。そして楽しく過ごす事が出来れば大変嬉しく思います。

何も、実行していませんが、難

病連十勝支部の皆さんの力を分けてもらい、出来るなら小さなサークルを作りたいと思っております。皆さんと、又逢える日を楽しみに待っております。



“障害を持った方は皆さんどうしているのでしょうか？ほとんど町では見かけないんです...”
帯広へ戻って来て一番に感じたことだそうです。

同じ障害を持っている人もたくさんいるはず、そして、障害者という壁はなくして、健常の方もボランティアの方も、目の不自由な方、車椅子の方も一緒に、気軽に町に出かけたり、交流できるようになって、もっと若い人が出会える場があればいいな...と。

砂川の訓練校や、札幌での仲間との、幅広い年齢と様々な障害の方々とのかわりから学んだことが、これから力強く生きていく貴重な体験となっているように感じました。

時間がかかることだと思いますが、難病連の地域活動の中でも、できるかぎり協力させていただけたらと思います。若い力、パワーを生かせる仲間作りに、何か良い情報などあれば、ぜひお知らせ下さい。

(事務局 荒尾)



事務局からのお知らせ

総合的難病対策の早期確立を要望する署名・募金にご協力いただきました。

- 士幌地区労働組合協議会 様
- 自治労上士幌町職員組合 様
- 士幌消防署 様 亀の子荘 様
- 池田保健所 様 原尾商店 様
- 上士幌消防署 様 東明寮 様
- 帯広市消防職員協議会 様
- 帯広高等看護学院 様
- 帯広脳神経外科病院 様
- 十勝勤労者医療協会 様
- 帯広厚生病院 様 全農協 様
- 士幌町デキアサービスセンター 様
- 北海道立緑ヶ丘病院 自治労 様
- 士幌町国民健康保険病院 様
- 士幌町特別養護老人ホーム 様
- 荒井 薫 様 藤田浩子 様
- 植松秀子 様 富原洋子 様
- 富原愛子 様 八千代寿会 様

3月31日までにいただいた分、ご協力に心より感謝致します。

ご寄付をいただきました

- 匿名 様 30,000-
- 健康まつり会場にて 1,000-
- 橋本 一三 様 1,000-

募金箱設置にご協力いただきありがとうございます

- 川西大空マーケット 様 636-
- 川西大空マーケット/丁目店 様 962-
- 茂古沼酒店 様 5,253-
- 敏 様 1,781-
- 珈琲屋かぜ 様 1,635-
- 池田町ワイン城 様 4,727-
- ダイイ子西8条店 様 3,813-
- ワインプラザカワイ 様 2,392-
- アサヒビール園帯広 様 2,794-
- 白樺天 様 2,755-
- モミの木 様 450-

合計 27,198円

リサイクルバザー用品のご寄付をいただきました

- 紺野英子 様 井雲ハルミ 様
- 菊地あい 様 中橋みち子 様
- 徳永歯科 様 SOKAむかし会 様
- 帯広書店 様 鷺沢 陽子 様
- 西村 様 石井 トミ 様
- 服部定美 様

ありがとうございました



はぴあい、たすけあ北海道難病連

ふれあい帯広

〔北海道難病連十勝支部〕

帯広市西5条南13丁目19-2
TEL (0155) 23-6602
FAX (0155) 23-7071

■オープン時間
AM10:00~PM5:00
(日・祭日はお休みです。)

患者自身による患者さんのための 福祉機器ショールームです。


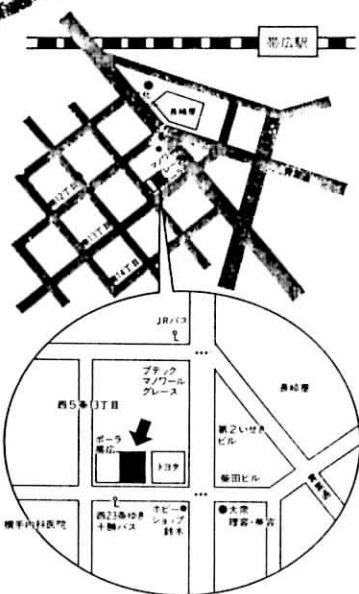
主な展示品

- 特殊ベット
- 電動ベット
- 床ずれ防止器
- 車椅子
- 歩行器
- リハビリ用品
- つえ各種
- ポータブルトイレ
- 入浴用品
- 視覚障害者用品
- その他各種

福祉制度の利用も可能です。

- 日常生活用具
- 補装具
- 厚生年金車椅子


ご病気のことや、福祉制度のご相談もお待ちしています。

- (個人参加難病患者の会) あすなろ会
 乾癬の会
 再生不良性貧血患者と家族の会
 全国筋無力症友の会北海道支部
 全国膠原病友の会北海道支部
 全国心臓病の子供を守る会北海道支部
 全国二分骨椎症児(者)を守る会北海道支部
 全国パーキンソン病友の会北海道支部
 脳道閉鎖症の子供を守る会北海道支部
 日本オストミー協会札幌支部
 日本てんかん協会(波の会)北海道支部
 日本リウマチ友の会北海道支部
 北海道潰瘍性大腸炎・クローン病友の会
 北海道肝臓友の会
 筋ジストロフィー部会
 北海道後縦靭帯靭帯症友の会
 北海道道小鳩協会の会
 北海道腎臓病患者連絡協会の会
 北海道腎臓小脳変性症友の会
 北海道側弯症児を守る会の会
 北海道多発性硬化症患者の会
 北海道低肺の会の会
 北海道橋本病友の会
 北海道パージャーマ病友の会
 北海道ヘモフィリア(血友病)友の会
 北海道ペーチェット病友の会
 未熟児網膜症から子供を守る会北海道支部
 もやもや病の患者と家族の会北海道ブロック

あとがき

この時期は特に、毎日があっという間に過ぎて、季節の変わる早さに驚かされます。回りをぐるっと見わたして、木々や、小さな草花にも、目を向けられるよう、余裕を持った94年度を過ごしたいものと思います。いい年にしたいですね!! (あ)



HSK なんれんとかち NO. 13

編集人/財団法人北海道難病連十勝支部 江口美生男
 帯広市西5条南13丁目19-2 『ふれあい帯広』
 ☎0155-23-6602 FAX 23-7071
 月~金曜10時~17時、土・日・祝日は休み

昭和48年1月13日第三種郵便物認可
 1994年4月10日発行 HSK通巻265号(毎月1回10日発行)
 発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川久美子
 札幌市中央区北9条西19丁目55

なんれんは (ふれあい) 共同募金の配分を受けています。